

水沼の君の時代



①② 御塚古墳・権現塚古墳

水沼の君が活躍した5世紀後半～6世紀前半に築造された巨大な古墳です。御塚古墳は全長約120mの帆立貝式前方後円墳、権現塚古墳は直径約150mの大型円墳です。周溝には水をたたえた姿は、畿内の大型古墳との共通性を感じさせます。水沼の君が葬られていると考えられています。



⑨ 道蔵遺跡



奈良・平安時代の三瀧郡の役所(郡衙)跡と考えられる遺跡です。大型の建物群が発見されています。7世紀に水沼の地が筑後国三瀧郡に編成されると、水沼の君の末裔たちは役人となり、活躍したと思われます。

⑧ ごびょうづかいかいづか 御廟塚貝塚



三瀧町高三瀧には、弥生時代の人々が貝殻などを捨ててきた貝塚が残されています。高良玉垂命のお墓とも言われ、江戸時代に発掘された際には銅剣2本が出土しています。水沼の地を治めた水沼の君の祖先が残したものでしょう。

⑤ だいぜんじ たまたれぐう 大善寺玉垂宮



7世紀後半の天武年間の創建と伝わります。672年には僧安泰が玉垂宮の傍らに高法寺を開いたとされ、以後、三瀧における信仰の中心地の一つとなってきました。創建には水沼の君が関わっている可能性も考えられます。

③ ふたごづかこふん 二子塚古墳 ④ わしづかこふん 鷺塚古墳

6世紀後半頃の水沼の君一族が葬られていると考えられています。

地図の説明

- 古代の官衙・集落
- 今も残る古墳・塚
- 無くなった古墳・塚
- 神社

所在地は①～⑩の位置を参考にしてください。

